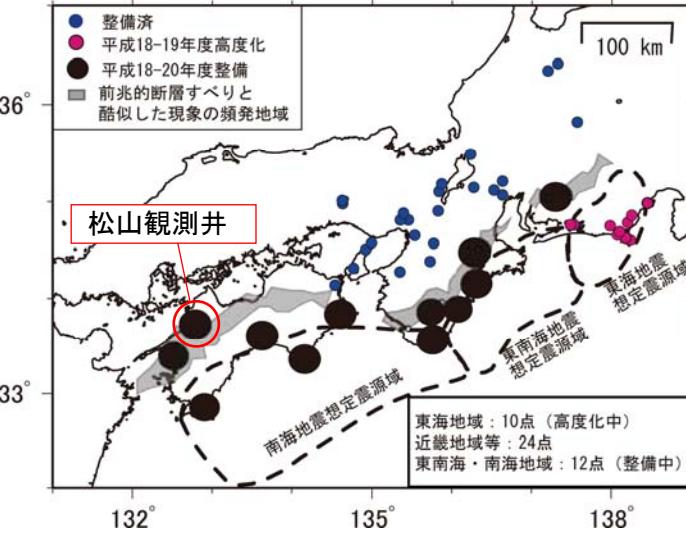


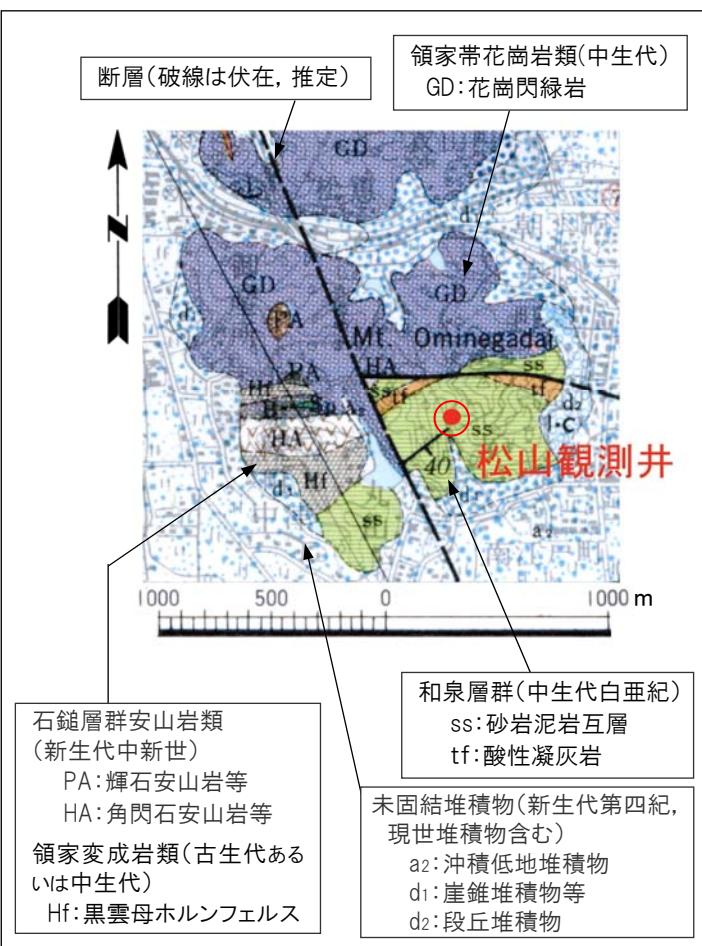
産業技術総合研究所ではこれまで、地下水観測による東海地震の予知研究を30年余り継続し、経験を積んできました。この成果を、東南海・南海地震の予測研究に生かすために2006年度から2008年度にかけて、四国や紀伊半島周辺の12カ所に新規観測井を設置しました。各観測井は600m、200m、30mの3本の孔井に設置した観測装置およびGPSから構成され、データはつくば市の地質調査総合センターに送られます。

#### 東海・東南海・南海・近畿地方周辺における地下水等総合観測網

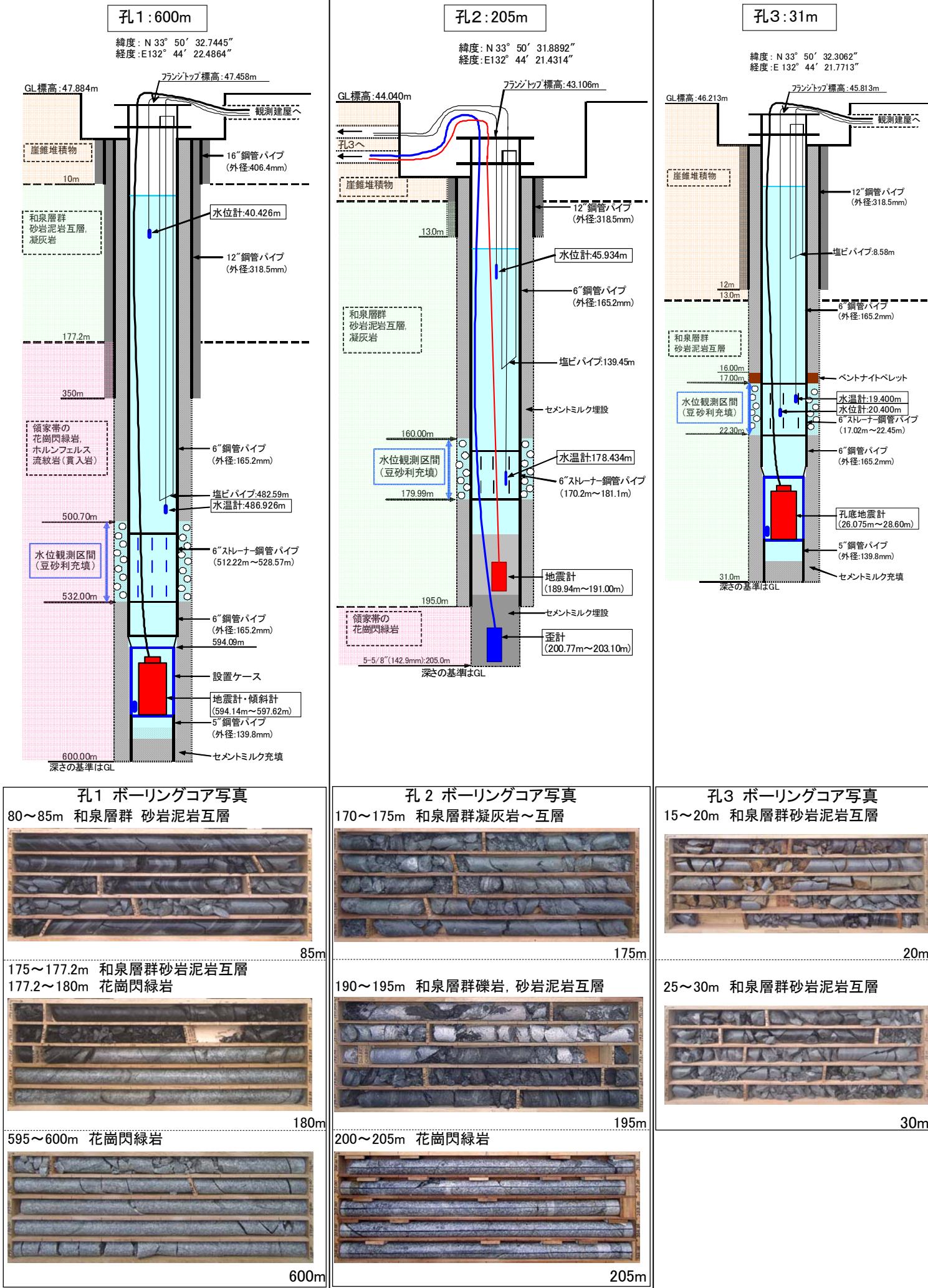
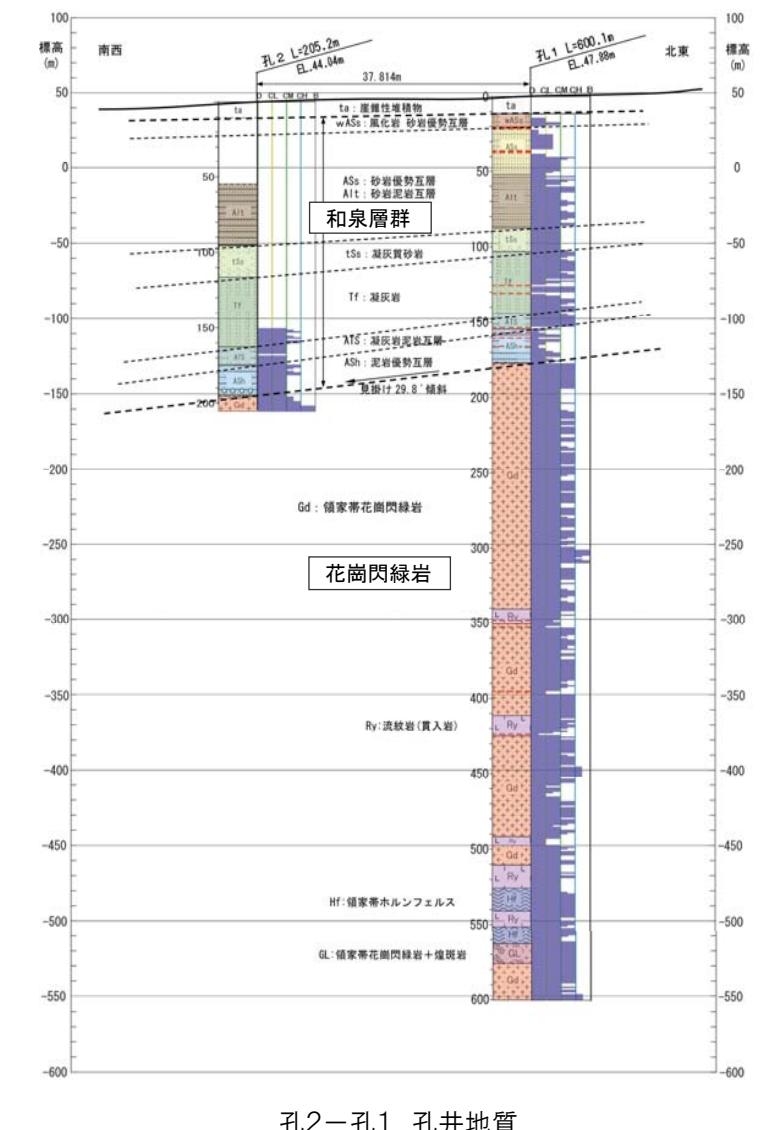
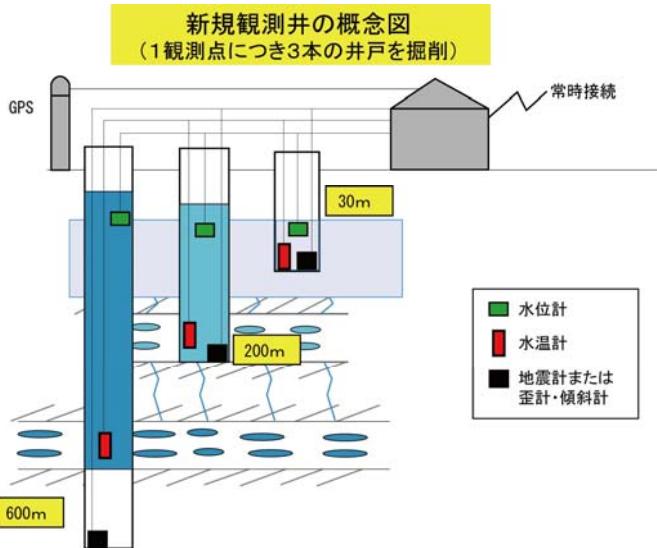


松山観測井は松山総合公園かえでの谷に設置しました。

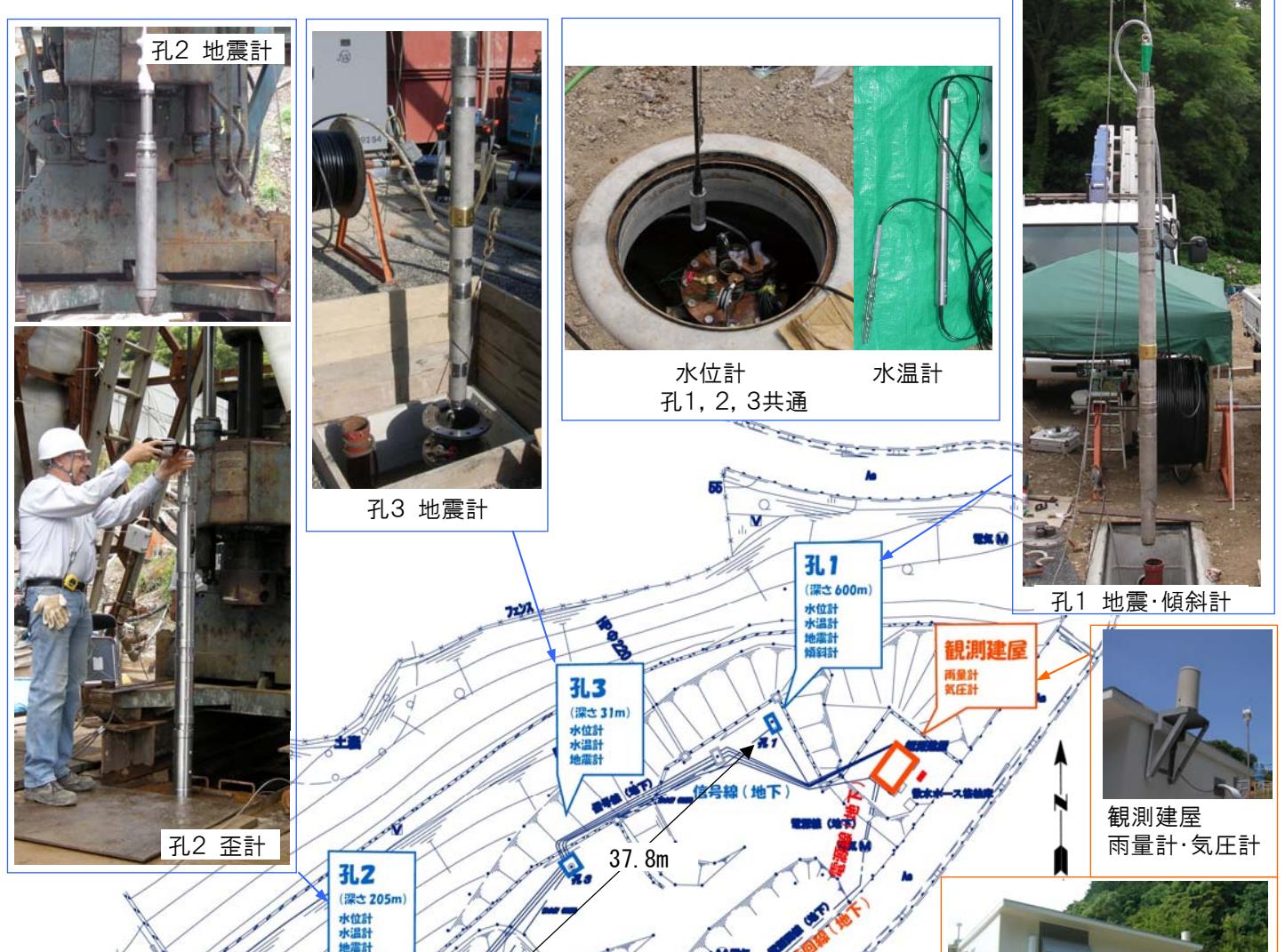
観測井周辺の地質は、領家帯花崗岩類の花崗閃綠岩（中生代）および和泉層群の砂岩泥岩互層等（中生代白亜紀）から構成されており、地下にもこれらの岩石が分布しています。



土地分類基本調査「三津浜」5万分の1表層地質図(1975, 愛媛県)より一部を引用



# 東南海・南海地震予測のための 地下水等観測施設 松山観測井

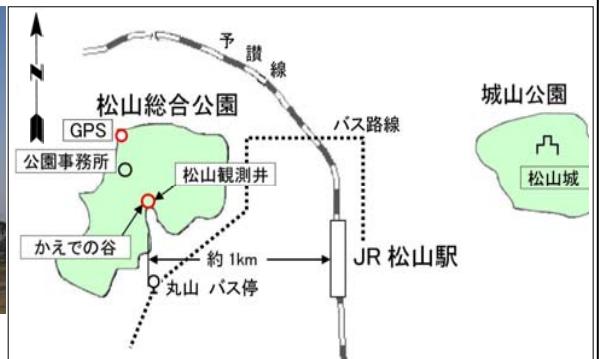


孔名	深度	孔口標高(GL)	緯度	経度	地下水観測装置	その他 観測装置
孔1	600m	47.884m	N 33.8424290°	E 132.7395796°	水位計 水温計 GL-520m付近の帶水層	速度型地震計+傾斜計 孔底付近に設置
孔2	205m	44.040m	N 33.8421914°	E 132.7392865°	水位計 水温計 GL-170m付近の帶水層	速度型地震計+歪計 孔底付近に設置(埋設)
孔3	31m	46.213m	N 33.8423073°	E 132.7393809°	水位計 水温計 GL-20m付近の帶水層	速度型地震計 孔底付近に設置

観測井：愛媛県松山市南江戸5丁目～6丁目  
松山総合公園 かえでの谷  
GPS : 愛媛県松山市朝日ヶ丘1丁目



GPS 第三駐車場北側



伊予鉄バス「津田団地前」行き  
「丸山」停留所下車 徒歩 7 分

観測結果は、インターネットで閲覧できます  
<http://www.gsj.jp/wellweb/>

連絡先  
産業技術総合研究所  
地質調査総合センター  
地震地下水研究グループ  
〒305-8567 茨城県つくば市  
東1-1-1 中央第7  
TEL: 029-861-3656



過去に起きた南海地震の後に、道後温泉のお湯の湧出が止まったり、減ったという記述が、古文書などに見られます。このような地震に伴う地下水の変化を、その他の地殻活動と共に捉え、将来の東南海・南海地震予測に役立てるために、この施設が作られました。

(なお、この施設は観測研究用であり、警報用ではありません)

